

(様式3)

令和3年度 指定管理業務の評価表

1 施設概要

施設名	山田奉行所記念館	所在地	伊勢市御園町上條1602
指定管理者名	山田奉行所記念館友の会	指定期間	令和2年4月1日～令和7年3月31日
設置目的	山田奉行所に関する資料を収集、保存、展示して、地域文化の振興に寄与する		
業務内容	山田奉行所に関する資料を収集、保存、展示して、地域文化の振興に寄与する 入館者に対する説明、指導及び助言に関すること 地域住民の福祉、文化等の向上に関すること 記念館の利用の許可に関すること 記念館の維持、管理に関すること 以上のほか、記念館の管理に関する事務のうち、市長のみの権限に属する事務を除く業務		
施設概要	敷地面積: 2,580㎡、建築面積: 356㎡ 施設内容: 木造平屋建(母屋、長屋門)鉄骨平屋建(弓道施設) 事務室、展示室、弓道施設		
職員体制	会長1名、運営委員長1名、運営委員3名、監事2名、協力委員7名		
施設所管課名	文化政策課		

2 収支状況

		(A)	(B)	(C)	(単位:円)	
		令和元年度	令和2年度	令和3年度	比較(C-B)	
事業 収支	収入	指定管理料	3,270,000	3,209,000	3,275,000	66,000
		利用料金	38,820	20,680	31,630	10,950
		減収補填金	0	3,375	0	△ 3,375
		その他	109,154	6	135	129
		計(a)	3,417,974	3,233,061	3,306,765	73,704
	支出	人件費	2,015,700	2,002,900	2,053,400	50,500
		管理運営費	1,294,953	981,393	989,908	8,515
		その他	0	0	0	0
		計(b)	3,310,653	2,984,293	3,043,308	59,015
		収支差引額(a)-(b)	107,321	248,768	263,457	14,689

最新年度(C)と前年度(B)に収支の増減があったものについて記載	事業費のうち、お茶会、ミニ講座などの支出が本年もなかった
----------------------------------	------------------------------

3 評価 (別表様式4に基づく総合評価)

指定管理者	市
コロナ禍により、地域とのつながりを表象するお茶会、ミニ講座を本年も実施できなかった。ただ、御師制度廃止150年にともなう行事への参加や、御園小学校児童への地元文化(かんこ踊り、手筒花火)の紹介などを行うことができた。	・施設の管理運営と維持管理は、適正に行われていた。 ・令和3年度はコロナ禍のため実施できなかったが、施設が津波災害の浸水区域内にあるため、津波災害を想定した訓練を実施いただきたい。なお、その際には地元自治会等との連携も図って欲しい。 ・新型コロナウイルスの影響により来館者数が減少したが、その中でも工夫して御師フォーラムやキッズフェアを開催できた。御師フォーラムは申し込み多数のため、回数を増やして対応していただいた。御園町にある唯一の文化施設であるため、引き続き、来館者増に繋がる取り組みに努めて欲しい。 ・今後も様々な取り組みを継続し、市民の文化芸術活動のさらなる活性化に寄与いただきたい。また、効果的、効率的な管理運営に努め、各団体や行政との連携を密に図りながら、より質の高いサービスを提供できるよう期待したい。

指定管理業務の項目別評価表

施設名 山田奉行所記念館

評価項目		評価				
		指定管理者		市		
業務運営項目	評価の基準	判定	評価理由	判定	評価理由	
施設設置目的の達成	①施設の目的や基本方針の理解	施設の設置目的に基づいた管理運営上の基本方針を理解していたか。	A	常に地域の人々の反応に関心を持っている	A	運営業務の基本方針等を十分に理解している。
	②施設設置目的の達成度	施設の管理運営を通して、施設の設置目的は達成されたか。	A	それなりに達成できた	A	設置目的や管理に関する基本的な考え方をもとに、館の管理運営が行われている。
	③利用者数	利用者数は当初の目標を達成したか。	B	目標数に達しなかった	A	コロナ禍により集客を図れなかったため、目標数に達しなかった。引き続き、感染症対策を講じながら利用者増につながる取り組みに努めてほしい。
	④運営状況	施設の供用日数・供用時間は守られたか。また、適正な施設の運営が行われたか。	A	適正に運営できた	A	コロナ禍による休館期間を除いては、供用日数・供用時間ともに、事業計画どおり適正な運営が行われていた。また、新型コロナウイルス感染防止のため、消毒液・検温機の設置、利用者名簿の作成等の対策を徹底した施設運営が行われた。
	⑤職員の配置状況・勤務実績	職員の配置状況・勤務実績は適正であったか。また、業務執行体制(作業責任者・業務担当者)は明確になっていたか。	A	特に問題はなかった	A	当番表をつくり、順調に業務を行っていた。
	⑥意思疎通	管理運営業務全般について、市と指定管理者の責任者の間で十分な連絡調整がなされていたか。	A	行なわれた	A	月1回以上の情報交換が行われ、十分な連絡調整がなされた。
	⑦各種管理記録等の整備・保管	各種業務計画書、点検記録、整備・修繕・事故・故障等の履歴等の各種管理記録等が整備・保管されていたか。	A	整備、保管に努めた	A	各種帳簿等については、適正に整備・保管されている。
	⑧地域の振興	地域や地域住民との交流・連携に関する取り組みを実施し、地域の振興が図れていたか。	B	コロナ禍により、進まなかった	A	コロナ禍のため、大人数での交流は控える必要があった。引き続き、地域住民との交流に努めて欲しい。
	⑨使用許可等	使用許可等申請が適正に行なわれていたか。	A	行なわれたと考えている	A	使用許可等の申請の取り扱いは、適正に行なわれていた。
	⑩利用料金等の徴収状況	徴収、減免、還付等は帳簿等が作成され、適正に行なわれていたか。	A	帳簿は適正に作成され、適正に行われた	A	帳簿等が作成され、適正に行われた。
	⑪個人情報	個人情報の取扱いがきちんとなされていたか。	A	規則どおり行った	A	個人情報に係る書類は、適正に管理されている。
	⑫法令遵守	関係法令を遵守していたか。	A	遵守して運営した	A	法令違反は見受けられなかった。

指定管理業務の項目別評価表

施設名 山田奉行所記念館

評価項目		評価			
		指定管理者		市	
業務運営項目	評価の基準	判定	評価理由	判定	評価理由
サービスの質の向上	①施設利用状況及び利用者数増加への取り組み	A	御師フォーラムを、実態にあわせ2回行うなどした	A	伊勢の御師フォーラム2021実行委員会と連携して、展示と講演を行った。申し込み多数のため、講演は回数を増やして行った。
	②利用者の平等な利用	A	適切に行った	A	来館者に対し丁寧な展示説明を行うなど、対応サービスについては利用者からの評価も高い。
	③適切な情報提供	A	来館者の求めに応じ行った	A	企画展開催時には、「広報いせ」やマスコミ等を活用し、情報提供を行っている。
	④非常時・緊急時の対応	A	市の指導を遵守した	A	コロナ禍のため実施できなかったが、津波災害の浸水域内に施設があることを踏まえ、様々な非常時を想定した訓練の実施に努められたい。
	⑤苦情解決体制及び対応	A	苦情はなかった	A	管理運営に関する大きな苦情は無かった。
	⑥自主事業	B	ニーズの把握をうまくできなかった	A	御師フォーラムの講演は定員以上の申込みがあった。今後も郷土文化の振興と、利用者増につながる取り組みに努めてほしい。
	⑦事業の評価	A	常に反省に努めている	A	特別展等の開催中に来場者から聞き取り等をし、事業評価を行っている。今後到来館者や施設利用者の意見等を事業運営の参考としてほしい。
施設・設備等の維持管理	①建物・設備の保守点検	A	花壇づくり、草取りに努めている	A	敷地内の美観保持、定期的な点検・確認が行われている。
	②備品等の管理	B	収集資料の整理に追われている	A	保管資料は、適切に管理されている。また、設備等についても適正に管理されている。
	③修繕業務	A	常に小修繕を実施している	A	修繕が必要な案件については、適切に報告がなされた。また、軽微な修繕については、従事者により修繕するなど経費節減に努めている。
	④清掃業務	A	きちんと行っている	A	日頃から適切に清掃、美観保持に努めている。
	⑤防犯体制	A	イセットに依頼、問題なく進められている	A	鍵の管理は適正に行われており、防犯に関するトラブルは発生しなかった。